

環境コストマネジメント

ムラタでは、過去から、環境保全・公害防止、省エネルギー、地下浸透防止などの予算枠を設定、管理しており、また現在進めている土壌・地下水汚染浄化対応も将来発生費用総額を引当計上するなど、環境関連コストのマネジメントを実行してきました。

2001年5月に改訂したムラタ環境憲章において、従来の環境コストマネジメントをさらに発展・進化させ、ムラタにおける環境保全活動に投入されるコストとその効果をより詳細な目的別に把握し、その情報を有効利用することによって、効率的な環境経営を実現することを目指しています。

現在、事業活動における環境コスト及び効果とは何か、それをどのように集計するか、その投入コストと効果の情報を経営判断にどのように利用していくかについて社内で検討を進めています。

ムラタ環境行動計画のとおり、2003年度末までにグループ全体でのデータ集計体制の構築を計画しています。

環境保全投資額及び土壌・地下水の浄化費用は、下表のとおりです。とくに土壌・地下水の浄化費用については企業会計として、汚染浄化対策完了までのすべての費用を試算し、負債として引当計上しています。

環境保全投資の状況 (単位：百万円)

投資目的分類	1998～2000年度の実績累計		2001年度の実績	
	単体	連結	単体	連結
公害防止	55	151	15	333
地球環境保全	587	653	3	17
資源循環	451	724	0	62
地下浸透防止	226	431	0	122
その他	10	71	9	23
計	1,329	2,030	27	557

関連12ページ

土壌・地下水の浄化費用 (単位：百万円)

2001年度までの実績累計		2002年度以降の見込み	
単体	連結	単体	連結
754	6,109	208	4,810

汚染浄化対策完了までのすべての費用を試算し、負債として引当計上しています

関連27ページ

環境教育

ムラタにおいて環境に配慮した事業活動の推進を支えていくのは従業員一人ひとりであり、全員による活動が必要となります。経営トップの示した環境ビジョン・方針や事業所・部門の取り組みを従業員一人ひとりが理解して実行していくことこそ環境保全の推進力となると考えています。

したがって、この趣旨にそって環境教育訓練・啓発のプログラムを実行しています。

環境教育訓練

ムラタの環境ビジョン・方針を理解する一般環境教育をはじめ、内部環境監査員養成のための社内講座等のプログラムを設けています。

教育訓練項目	内容
新入社員教育	入社時集合教育において環境保全に関する講義を実施。
事業所環境マネジメントシステムにおける教育訓練	生産事業所・生産子会社における事業所環境マネジメントシステムの中で環境教育訓練を定期的実施。
内部環境監査員養成の社内講座	事業所内部環境監査員の資格者を養成するため、社内講座を1997年から定期開催。公式審査員資格の保有者を講師として、2002年3月までに370名を養成。

啓発・促進

社内報「Journal Murata」において、毎年、環境月間特集を企画し、全社取り組みテーマの進捗状況や対策成功事例を紹介するとともに、定期的に環境保全に関するキーワードを平易に解説し紹介するコーナーを設け、従業員の環境保全意識の浸透をはかっています。

また、社内表彰制度の中に「地球環境保護推進賞」を設け、環境保全に顕著な貢献をした従業員に対し、業績表彰を行っています。これまでに4件のテーマが対象として表彰されています。

